

国土交通大臣賞

受賞者名

鹿島建設株式会社 関西支店 アスビオファーマ神戸工事事務所

所在地

兵庫県神戸市

受賞テーマ

ゼロエミッション活動とCO2削減活動の相互展開による環境配慮型現場づくり

同工事では、ゼロエミッションとCO2削減の同時実施による相乗効果を図り、以下の取組を行った。

<ゼロエミッション活動>

リサイクル率95%以上を目標に、環境委員会・ゼロエミ分別隊による分別状況の管理・パトロール、作業員の教育・指導、一斉清掃日の設定、分別ふりい機の作成等を行い、累計リサイクル率99.18%を達成した。具体的なりサイクル用途の例は、下記の通り。

- コンクリートがら、ガラス・陶磁器くず→再生砕石
- 木くず→バイオエタノール原料
- スクラップ→金属原料
- 廃プラスチック→RPF原料、成形品原料
- ダンボール、紙くず→再生原紙
- 石膏ボード→石膏ボード
- グラスウール、建設用シーリング材容器→メーカーリサイクル、等

<建設副産物のリデュース>

- 杭汚泥の「自ら利用」の許可を受け、敷地内埋戻し土として利用し、搬出量を削減
- 掘削土を敷地内埋戻し土として利用し、場外搬出残土を削減
- 床躯体工法に、スパンクリート・カイザーPCa板・ファブデッキを使用し、型枠廃材を削減
- 床立上り躯体に鋼製型枠を、また柱型枠に特注寸法パネルを使用し、型枠廃材を削減
- 外装押し出しセメント成形板を工場にて採寸プレカットし、廃材を削減
- 設備給排気ダクトの原寸取り工場加工により廃材を低減、等

<CO2削減>

杭汚泥の搬出量削減、掘削残土排出量の削減、省燃費運転の指導、アイドリングストップ、仮設照明の蛍光灯化、各種の啓蒙・教育掲示等を実施し、軽油使用分のCO2排出量を約9.5%、電力使用分のCO2排出量を約31.3%削減した。



埋戻し前



埋戻し状況

- ・杭汚泥を「自ら利用」の許可を受け、敷地内埋戻し土として利用する事での産廃削減量 1,170m³
- ・掘削土を敷地内埋戻し土として利用する事での場外搬出残土の削減量 2,671m³

建設副産物リデュースの取組例